

富士山の女神

大日如来と女性的な面影

この像は吉田口登山道の二合目にある御室浅間神社に祀られています。浅間大菩薩は諸仏菩薩の本地である大日如来として女神より上に描かれていました。この作品は神仏習合の絶好例です。

神道と仏教の厳密な分離は主に近代の減少です。過去の時代においては、人々は神と仏を同時に拝むことに矛盾を感じておらず、神道の司祭や仏教の僧侶といった宗教家たちは神を諸仏の化身とする洗練された宗教的理論を発展させました。

このことから、なぜ浅間神に明白な仏教の影響が見られる新たな名前が与えられたのかが分かります。アサマの音読みであるセンゲンを用いて、浅間神は浅間大菩薩となりました。つまり、富士山周辺のアサマ神社とセンゲン神社は違う名前のもとで同じ神を祀っているのです。